

敷地1丁目自治会の皆様へ

敷地1丁目自治会

# 令和6年度 古紙回収について



回収日時 : 毎月 第3水曜日 午前8時30分 (時間厳守)  
回収場所 : 今までと同じ場所

## 古紙回収カレンダー

★段ボール ★雑誌 ★新聞・チラシ ★牛乳パック ★雑紙

4月 17(水)	5月 15(水)	6月 19(水)	7月 17(水)	8月 21(水)	9月 18(水)
10月 16(水)	11月 20(水)	12月 18(水)	R7/1月 15(水)	2月 19(水)	3月 19(水)

古紙回収の奨励金を活用し、より充実した自治会運営に努めますので是非皆様のご協力をお願いします。

【回収品目】 段ボール・新聞・雑誌・カタログ・紙パック  
缶(アルミ缶のみ)

【注意事項】 ※スプレー缶、スチール缶、その他の金属は行いません。  
※古布(衣類など)の回収は行いません。

- ・品目ごとに整理して出して下さい。
- ・細かいものは紙袋等に入れて下さい。
- ・新聞紙は白色の紙ひもでしばって下さい。
- ・ビニール、セロハン、カーボン紙などはリサイクルに支障が生じますので取り除いてください。
- ・回収の際の積み込み等のお手伝いは必要ありません。

# 回覧

2024年 2月26日(月)  
敷地1丁目自治会

## 9組、10組、11組合併の件

今回表題の件につきまして10組、11組会員様の今後転出者続発が考えられる為、9組に編入して、2024年4月1日より自治会運営にあたりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

### ☆ 下記運営方法とする。

1. 9組に編入して自治会運営に入る。  
組名は・・・9-1組(現9組) 9-2組(現10組) 9-3組(現11組)とする。
2. 専門委員会委員(体育委員、交通安全委員、婦人会委員)は各組より選出して頂き、R7年度以降は輪番制を予定する。

#### R6年度役員

9-1組・・・組長+体育委員  
9-2組・・・組長+交通安全  
9-3組・・・組長+婦人会

#### R7年度

9-1組・・・組長+交通安全  
9-2組・・・組長+婦人会  
9-3組・・・組長+体育委員

★ 各組よりの組長さん選出は、自治会費集金、広報紙配付、回覧板等の配付があり1名では運営が難しい為、3名の選出とする。

### ☆ 自治会副会長等の選出について(再掲載)

2010年より自治会3役等の選出方法に基き、自治会会則上担当グループの自治会長選出組以外より副会長2名を選出し、当年度の組長が兼任し任期は1年とする。

また、防災連絡員1名についても担当グループより選出し、当年度の組長が兼任し任期は1年とする。

(2010年度総会決定事項)

**※ 最終決定はは3月29日(金)総会上承認後となります。**



調査対象のみなさま、ご家族さまへ

# 高齢者実態調査 にご協力ください

民生委員が  
訪問します

静岡市では、令和6年4～6月にかけて、「高齢者実態調査」を実施します。

- 1. 調査の目的** 高齢者の皆様の現状等をより正確に把握することを目的としています。
- 2. 調査の方法** 民生委員がお宅を訪問し、身体の状況や緊急時の連絡先などを直接お聞きします。  
\*担当の民生委員は、「民生委員・児童委員証」を持参して伺います。
- 3. 調査結果の活用方法** 当調査の結果は、市と地域の民生委員が共同して支援していくための重要な基礎資料となり、必要に応じた介護保険などのサービスの情報提供や、緊急時や災害時に迅速な支援をするために活用されます。
- 4. 調査の対象** 市内にお住まいの**75歳以上の方**  
(昭和24年4月1日より以前に生まれた方)  
ただし、**65歳未満の方と同居の方は除く。**  
\*上記以外の方も、必要に応じて訪問する場合があります。

\*調査結果は市と民生委員が共有し、上記の目的以外に使用することはありません。

## ☎問合せ先

(具体的な調査内容について)  
駿河区役所 高齢介護課  
054-287-8678

(調査全体のことについて)  
静岡市役所 高齢者福祉課  
054-221-1201



心員委主別  
きまじ問話

査監親実者輔高  
のち式>式親ここ

☆ 調査対象でない方（65歳未満の方と同居している方や65歳から74歳までの方など）も、心配ごと、悩みごとなど相談したいことがありましたら、地域の民生委員や以下の地域包括支援センターにご連絡ください。

静岡市 地域包括支援センター（愛称：まるけあ）一覧

令和6年4月1日現在

地域包括支援センター名	呼称	所在地 (設置場所)	電話番号 (054)	FAX番号 (054)	主な対象区域	
駿河区	1 小 <sup>こ</sup> 鹿 <sup>か</sup> 豊 <sup>とよ</sup> 田 <sup>だ</sup>	まるけあ小 <sup>こ</sup> 鹿 <sup>か</sup> 豊 <sup>とよ</sup> 田 <sup>だ</sup>	駿河区小 <sup>こ</sup> 鹿 <sup>か</sup> 一 <sup>い</sup> 丁 <sup>てい</sup> 目 <sup>め</sup> 1-24 (小 <sup>こ</sup> 鹿 <sup>か</sup> 苑 <sup>えん</sup> 内)	284-0284	284-1286	東 <sup>あ</sup> 源 <sup>げん</sup> 台 <sup>だい</sup> 、東 <sup>あ</sup> 豊 <sup>とよ</sup> 田 <sup>だ</sup> 、西 <sup>せい</sup> 豊 <sup>とよ</sup> 田 <sup>だ</sup>
	2 や <sup>や</sup> 幡 <sup>はた</sup> 山 <sup>さん</sup>	まるけあや <sup>や</sup> 幡 <sup>はた</sup> 山 <sup>さん</sup>	駿河区有 <sup>あ</sup> 東 <sup>とう</sup> 二 <sup>に</sup> 丁 <sup>てい</sup> 目 <sup>め</sup> 12-10	202-6677	286-9888	森 <sup>もり</sup> 下 <sup>した</sup> 、富 <sup>とみ</sup> 士 <sup>し</sup> 見 <sup>み</sup>
	3 お <sup>お</sup> お <sup>お</sup> や <sup>や</sup> の <sup>の</sup> う <sup>う</sup> 大 <sup>だい</sup> 谷 <sup>や</sup> 久 <sup>く</sup> 能 <sup>のう</sup>	まるけあ大 <sup>だい</sup> 谷 <sup>や</sup> 久 <sup>く</sup> 能 <sup>のう</sup>	駿河区大 <sup>だい</sup> 谷 <sup>や</sup> 二 <sup>に</sup> 丁 <sup>てい</sup> 目 <sup>め</sup> 24-25 (シー <sup>シー</sup> サイ <sup>サイ</sup> ド <sup>ド</sup> 大 <sup>だい</sup> 谷 <sup>や</sup> 内)	236-0778	236-0776	大 <sup>だい</sup> 谷 <sup>や</sup> 、久 <sup>く</sup> 能 <sup>のう</sup>
	4 お <sup>お</sup> お <sup>お</sup> さ <sup>さ</sup> な <sup>な</sup> か <sup>か</sup> じ <sup>じ</sup> ま <sup>ま</sup> 大 <sup>だい</sup> 里 <sup>り</sup> 中 <sup>ちゆう</sup> 島 <sup>しま</sup>	まるけあ大 <sup>だい</sup> 里 <sup>り</sup> 中 <sup>ちゆう</sup> 島 <sup>しま</sup>	駿河区中 <sup>ちゆう</sup> 野 <sup>の</sup> 新 <sup>しん</sup> 田 <sup>だ</sup> 349-1 (エン <sup>エン</sup> ・フ <sup>フ</sup> レ <sup>レ</sup> ン <sup>ン</sup> テ <sup>テ</sup> 内)	280-4970	289-2274	大 <sup>だい</sup> 里 <sup>り</sup> 西 <sup>せい</sup> 、中 <sup>ちゆう</sup> 島 <sup>しま</sup>
	5 お <sup>お</sup> お <sup>お</sup> さ <sup>さ</sup> な <sup>な</sup> か <sup>か</sup> じ <sup>じ</sup> ま <sup>ま</sup> 大 <sup>だい</sup> 里 <sup>り</sup> 高 <sup>こう</sup> 松 <sup>そう</sup>	まるけあ大 <sup>だい</sup> 里 <sup>り</sup> 高 <sup>こう</sup> 松 <sup>そう</sup>	駿河区登 <sup>とう</sup> 呂 <sup>りょ</sup> 五 <sup>ご</sup> 丁 <sup>てい</sup> 目 <sup>め</sup> 9-22	203-3385	203-3422	中 <sup>ちゆう</sup> 田 <sup>だ</sup> 、大 <sup>だい</sup> 里 <sup>り</sup> 東 <sup>とう</sup> 、宮 <sup>みや</sup> 竹 <sup>たけ</sup> 南 <sup>なん</sup> 部 <sup>ぶ</sup> 、富 <sup>とみ</sup> 士 <sup>し</sup> 見 <sup>み</sup> の <sup>の</sup> 一 <sup>いっ</sup> 部 <sup>ぶ</sup>
	6 お <sup>お</sup> さ <sup>さ</sup> だ <sup>だ</sup> 長 <sup>ちやう</sup> 田 <sup>だ</sup>	まるけあ長 <sup>ちやう</sup> 田 <sup>だ</sup>	駿河区み <sup>み</sup> ず <sup>ず</sup> ほ <sup>ほ</sup> 二 <sup>に</sup> 丁 <sup>てい</sup> 目 <sup>め</sup> 12-7	268-5080	257-7257	長 <sup>ちやう</sup> 田 <sup>だ</sup> 東 <sup>とう</sup> 、長 <sup>ちやう</sup> 田 <sup>だ</sup> 南 <sup>なん</sup> 、川 <sup>かわ</sup> 原 <sup>はら</sup>
	7 ま <sup>ま</sup> り <sup>り</sup> こ <sup>こ</sup> 丸 <sup>まる</sup> 子 <sup>こ</sup>	まるけあ丸 <sup>まる</sup> 子 <sup>こ</sup>	駿河区丸 <sup>まる</sup> 子 <sup>こ</sup> 二 <sup>に</sup> 丁 <sup>てい</sup> 目 <sup>め</sup> 4-16	270-8720	270-8721	長 <sup>ちやう</sup> 田 <sup>だ</sup> 北 <sup>きた</sup> 、長 <sup>ちやう</sup> 田 <sup>だ</sup> 西 <sup>せい</sup>

光<sup>ひかり</sup>台<sup>だい</sup>合<sup>ごう</sup>同<sup>どう</sup>会<sup>かい</sup>  
(つ<sup>つ</sup>ら<sup>ら</sup>に<sup>に</sup>こ<sup>こ</sup>内<sup>ない</sup>査<sup>さ</sup>監<sup>監</sup>の<sup>の</sup>用<sup>よう</sup>具<sup>ぐ</sup>)  
駐<sup>ちゆう</sup>所<sup>じょ</sup> 高<sup>たか</sup>須<sup>す</sup> 西<sup>せい</sup>原<sup>はら</sup>市<sup>し</sup>東<sup>とう</sup>郷<sup>きやう</sup>  
054-287-8620  
(つ<sup>つ</sup>ら<sup>ら</sup>に<sup>に</sup>こ<sup>こ</sup>の<sup>の</sup>全<sup>ぜん</sup>体<sup>たい</sup>査<sup>さ</sup>監<sup>監</sup>)  
駐<sup>ちゆう</sup>所<sup>じょ</sup> 高<sup>たか</sup>須<sup>す</sup> 西<sup>せい</sup>原<sup>はら</sup>市<sup>し</sup>東<sup>とう</sup>郷<sup>きやう</sup>  
054-287-1051





# 言葉で伝え合おう

令和6年2月1日  
静岡市立南中学校  
学校便り 2月号

## テーマ「令和6年石川県能登半島地震に思う」 校長 長尾 剛史

令和6年1月1日、国民の誰もが穏やかな1年を願った日、石川県能登半島全域で震度7の巨大地震が発生しました。能登半島では、これまで地震が群発しており、「やはり」という思いが一瞬よぎり、それ以上に、これだけ甚大な被害が発生するものなのかと驚き、悲しみを隠せませんでした。地震による死者233人、行方不明者22人（1月25日調べ）、3週間が経過し被災状況の全容がようやく見えるようになってきました。

「令和6年石川県能登半島地震」は、東日本大震災や他の地震被害と、様相が異なっています。今回の地震では、家屋の倒壊、地震による火災、津波、土砂災害、液状化現象、海底隆起など、地震災害によって起こるとされる全ての災害が半島内で見られています。重ねて主要道路の寸断、水道の断水、停電、感染症…。輪島市や珠洲市、穴水町では、学校が避難所となるなど、学校再開の目途が立たず、宿泊施設に集団避難して授業を再開させています。約1万2000世帯の家屋が倒壊危険家屋となり、被災者の多くが避難所生活を学校で送っています。この方たちの新たな生活ができるようになったとき、学校に子どもたちの笑顔と歓声が戻ってきます。

私は被災地の学校の状況を知ろうと、元日以降、情報を集めていました。そこで、石川県立輪島高校の校長先生が、ホームページでブログを記していることを知りました。冬休み明けの1月9日、本校と同様、輪島高校でも学校を再開し、生徒たちと顔を合わせる予定でした。実際それは実現できず、受験がある13名の3年生が学校に集まることができました。校長先生は「あれを言おう これを言おう」と考えていましたが、結局出た言葉は、「『よう生きとったな!』だけだった」と記しています。同じ立場の校長として、胸が詰まる思いです。

南中の新年集会はオンラインで行いました。私は新年のあいさつの言葉を述べ、本題に入りました。その内容は、新春大宝くじ大会。12月の会議で私は先生方にこんなお願いをしていました。「南中生が頑張っている様子がわかります。生徒たちの表情や様子がいい。表情良くみんなで力を合わせて頑張ろうとする姿が見られます。成長が感じられる南中生に、新年集会でお正月らしい楽しいことをやってあげたい。宝くじ大会をやらせてもらえないだろうか。」年の瀬、先生方や学校関係業者の方からいただいた寄付物品で景品を用意しました。南中生が喜ぶ笑顔を想像しながら。ところが元日の能登半島地震。被災された方たちのことを思い、同じ立場で頑張られている先生方のことを思うと、「宝くじ大会を行うべきか」と悩みました。防災学習に力を入れている南中です。ここは校長として、何が起きているのか話すべきか、とも。結果、私は予定通り宝くじ大会を行いました。そしてその終わりに、能登半島地震の話は短くしました。

「今何が起きているのか、報道やネット上の情報でしっかりと知ってほしい。その情報から感じたことを言葉にしてほしい。友だちや先生たち、家族と話をしてほしい。そして自分に何ができるかを考え、行動してほしい。防災学習をみんなで頑張っている君たち南中生なら、何が起きているのか分ると私は信じています。」

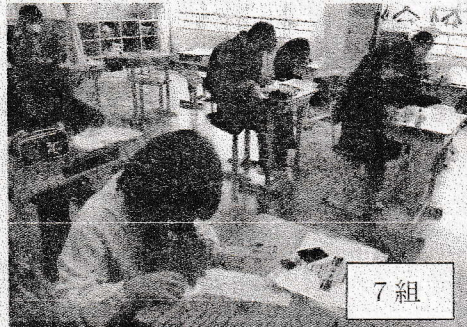
生徒（生徒会）、職員から募金活動を行いたいとする声が上がったのは、その数日後でした。私は学校をあげて対応することを決め、保護者の皆さんにも理解を求めました。募金期間の1週間、募金する生徒の姿は途切れませんでした。

中には、お年玉の袋や封筒、ビニールに入れた募金をそのまま入れる生徒もいました。学級閉鎖中だったからでしょうか、保護者の方がわざわざ学校に来てくださり募金される姿もありました。PTAからも大きな善意をいただきました。南中の生徒と各ご家庭が、能登半島地震を自分事と捉え、少しでも早く復旧、復興することを願っている気持ちが分かりました。本当にありがとうございました。南中生の思いと行動を誇りに思います。





# 新しい決意をもって取り組んでいます



「新年の決意をしましたか？」とたずねたところ、多くの生徒が答えてくれました。1年の愛甲翼さんは「これまでにお世話になった先生や親に感謝を伝えます。そして1年生で学んだことをしっかり復習していきたいです。」と、3年の長橋侑紀さんは「受験に勝ち抜くために勉強を頑張りたいです。」と夢を語ってくれました。それぞれが第4ステージにかける思いを実行に移しているのが、授業にも表れています。

写真の授業の様子です。3年生は黙々と授業を受けています。7組は細かな作業を集中して行っています。2年生は元気に楽しみながら授業を受けています。1年生は仲間に教えあいながら学習を進めています。一步一步確実に成長している自分に気付いてほしいものです。

## お知らせ

### 1 後期テストⅡについて

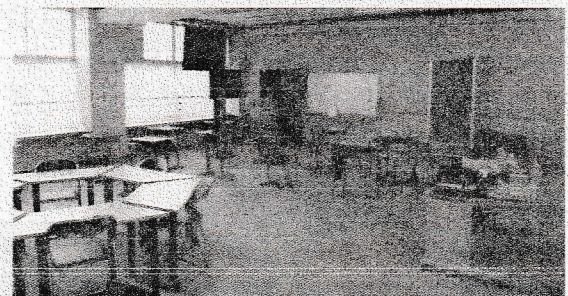
1・3年生は予定通り実施いたします。2年生は1月にインフルエンザが流行し学級閉鎖をしたり、午後の授業をなくし帰宅したりしたため、テストの期日を1週間遅らせて実施することにしました。

### 2 集金日について

2月の集金から1・2年生のみとなります。よろしくお願いたします。

### 3 新しいサポートルームができました

サポートルームでは教育相談員が悩みを抱える生徒に対する支援をしています。エアコンのある、広い部屋になりました。



【新しいサポートルーム（北校舎2階）】

## 行事予定

### 2月の予定

1日(木)	1・3年生後期テストⅡ①	14日(水)	集金日(1・2年のみ)
2日(金)	1・3年生後期テストⅡ②	15日(木)	午後カット
3日(土)	静岡市PTA連絡協議会		新入生体験授業及び入学説明会
5日(月)	2年生後期テストⅡ①		特別支援学校入学試験
6日(火)	私立高等学校検査1日目	16日(木)	私立高校合格発表
7日(水)	私立高等学校検査2日目	19日(月)	公立高校願書受付(～21日)
	2年生後期テストⅡ②	22日(木)	SCT(計算)
8日(木)	金曜日課	23日(金)	天皇誕生日
9日(金)	木曜日課	26日(月)	生徒協議会
11日(日)	建国記念の日		地域学校協働本部会議
12日(月)	振替休日	27日(火)	公立高校志願変更(～28日)
13日(火)	月曜日課 生徒会専門委員会	28日(水)	特別支援学校合格発表

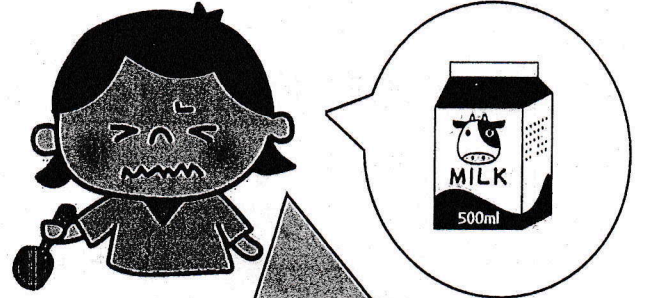
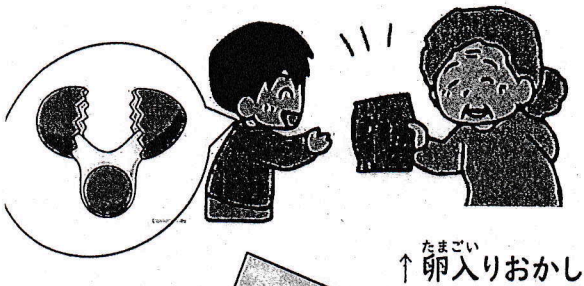


さいがいじ ひなんじょ しょくもつ たいおう  
災害時、避難所での食物アレルギー対応

さいがいじ  
災害時、それってこどもに  
あげて大丈夫？

たまご も  
卵アレルギー持ち Aくん

ぎゅうにゅう も  
牛乳アレルギー持ち Bちゃん



お父さんとはぐれちゃった。おなかがす  
いたなあ。近くにいたおほあちゃんが  
おかしをくれたから食べちゃおう！！

お母さんがいない…まわり  
大人はみんな忙しそう。お  
なかがすいたけど牛乳ア  
レルギーって言えないよー

さいがいじ しょくもつ こども  
災害時、食物アレルギーの子供への

アレルギー食品提供は命取りになるかも…



# 災害時 食物アレルギーの子供への対応マニュアル ～避難所での適切な対応～

## 災害時、困難な状況に置かれるアレルギー体質の子供たち

食物アレルギーがある場合、災害時は平常時以上に食べられるものが限られてしまいます。特に心配なのが食物アレルギーがある幼い子供たちです。保護者とはぐれて避難してきた子供は、自分にアレルギーがあることを理解していなかったり、アレルギーがあるとわかっている大人に言えない子供がいます。

事例① 東日本大震災時、「アレルギーがあっても食べないよりはいいから食べる」と言われた

事例② 災害時親と離れて避難した子供が、自分がアレルギーを持っていることを言えず、空腹に耐えかねて誤食した

## 避難時の提案

災害時は保護者の方の対策と地域の皆さんのご協力が食物アレルギーの子供たちを救うことにつながります！

## 食物アレルギー児をお持ちの保護者様

- アレルギー食材を明記したストラップ（札）を、防災リュックにつけよう
- 避難所ではアレルギー食材を書いた名札やテープを胸元に貼り、誤食を防ごう
- エピペンや薬を持っていることを表示しよう
- アレルギー食品を避けた食料の備蓄をしておこう

## 地域の皆様

- 子供に食べ物を与えるときは、食物アレルギーの有無を確認しよう
- 食物アレルギーの子供に協力しよう
- 子供の私物にエピペンや薬、必要な情報が入っていないか確認しよう（誤食時）



## みんなで対応!!～知っておこう～表示される『特定原材料 8 品目』

食物アレルギーがある人は「ひとつの食材で命を落としかねない」ということを理解しましょう。食物アレルギーをおこしやすい 特定原材料 8 品目は、卵・牛乳・えび・かに・小麦・そば・落花生 くるみ（2023年3月より）です。



これらの食品及び含まれる加工食品に注意してください。

食物アレルギーを含めアレルギー症状を訴える人は年々増加しています!!

災害時、困った場合はアレルギー専門機関相談窓口にアクセス・相談してください。